



ユーザーガイド

HP Engage Imaging Barcode Scanner II

© Copyright 2019-2020 HP Development
Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

RMN : HSN-DL01

初版 : 2019 年 10 月

製品番号 : L60466-292

このガイドについて

- ⚠ **警告**：回避しなければ重傷または死亡に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 - ⚠ **注意**：回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 - 📄 **重要**：重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記**：本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント**：タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

目次

1 お使いになる前に	1
バーコード スキャナーの各部	1
ハンズフリー スタンド	1
全方向操作	2
デコード	2
イメージング	2
2 スキャナーのセットアップおよび使用	3
ホストへの接続	3
USB	3
ウェッジ	3
RS-232	4
ケーブルの取り外しおよび接続	4
スキャナーの使用	4
照準システム	4
インターフェイスの種類を選択	6
インターフェイスの設定	6
RS-232	6
USB-OEM	7
USB 複合デバイス	7
IBM46xx	8
端末用 USB	8
Magellan スキャナー用 USB	8
キーボード インターフェイス	8
国モード	10
プログラミング	14
プログラミング バーコードの使用	14
製品初期設定へのリセット	14
Numlock	14
Caps Lock の状態	15
パラメーターの読み取り	15
照準システム	16
読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間	16
動作モード	17
スキャンモード	17

モード選択	19
複数ラベルの読み取り	19
3 LED およびビープ音によるインジケータ	20
4 トラブルシューティング	21
5 人間工学上の推奨事項	22
6 クリーニング	23
一般的な洗浄液	23
エンクロージャーおよびウィンドウの表面の清掃	23
7 ユーザー サポート	24
HP とユーザー サポート	24
必要なテクノロジー ツールの確認	24
HP の取り組み	24
IAAP (International Association of Accessibility Professionals)	25
最適な支援技術の確認	25
ご自身のニーズの評価	25
HP 製品のユーザー サポート	25
標準および法令	26
標準	26
Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合同向け)	26
WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)	26
法令および規制	27
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク	27
組織 (英語のみ)	27
教育機関 (英語のみ)	28
障がいに関するその他のリソース (英語のみ)	28
HP のリンク	28
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	28
8 仕様	29
スキャナーの仕様	29
被写界深度 (DOF) (通常) *	29
読み取りコード	30

1 お使いになる前に

安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。【ユーザーガイド】を選択します。

バーコードスキャナーの各部

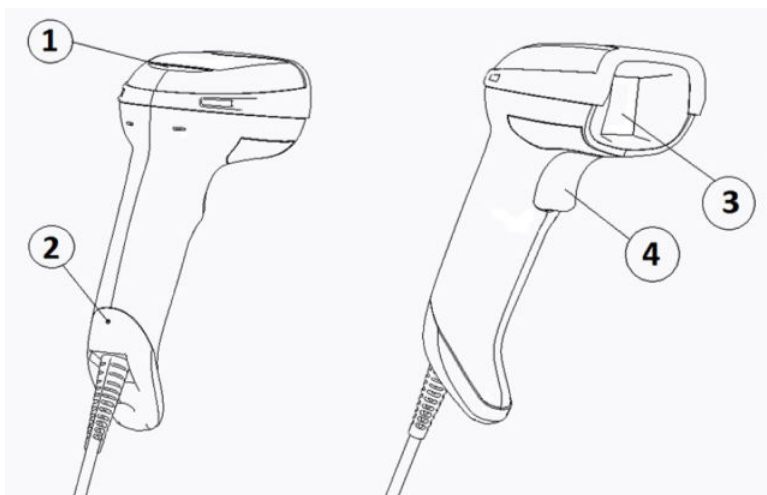


表 1-1 バーコードスキャナーの各部

名称	
(1) LED	(3) スキャンウィンドウ
(2) ケーブル取り外し穴	(4) トリガー

ハンズフリー スタンド


モデルに応じて、ハンズフリー スタンドまたは一体型スタンドを利用できます。スタンドは、ハンズフリー スキャンが可能な角度でバーコードスキャナーを支えます。また、スキャナーをスタンドに置いておくこともできます。

バーコードスキャナーをスタンドに挿入すると、スキャンモードがハンズフリーモードに自動的に変更されます。

全方向操作

バーコードスキャナーは、あらゆる方向からバーコードをスキャンできる全方向リーダーです。

- ▲ 読み取りコードを読み取ったりイメージをキャプチャしたりするには、バーコードスキャナーを向けてトリガーを引きます。

 **注記**：バーコードスキャナーがバーコードリーダーのスタンド内に配置されている場合、スキャナーは磁気結合を使用して、照射領域内のバーコードを自動的に検出します。次に、スキャナーの読み取りシステムがトリガーモードから自動検出モードに切り替わります。

デコード

バーコードスキャナーは、GS1 DataBar 線形コード、郵便コード (China Post)、およびスタック型コード (GS1 DataBar Expanded Stacked、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar、Stacked Omnidirectional など) を含むすべての標準 1D (線形) および 2D バーコードをデコードします。スキャナーは、デコードされた読み取りコードからホストコンピューターにデータストリームを送信します。送信が完了すると、別の読み取りコードを読み取ることができます。

イメージング

バーコードスキャナーは、ラベル、署名、およびその他の対象物のイメージ全体または一部をキャプチャすることによって、カメラとして利用できます。詳しくは、HP バーコードスキャナー D シリーズの構成ユーティリティを参照してください。

2 スキャナーのセットアップおよび使用

バーコードスキャナーを接続し、ホストとの通信を開始するには、以下の操作を行います。

1. ケーブルをバーコードスキャナーおよびホストに接続します ([3 ページのホストへの接続](#)を参照してください)。
2. インターフェイスを構成します ([6 ページのインターフェイスの設定](#)を参照してください)。
3. バーコードスキャナーをプログラムします ([14 ページのプログラミング](#)を参照してください)。

ホストへの接続

以下の図を参照して、スキャナーの接続方法を決定します。

USB



ウェッジ

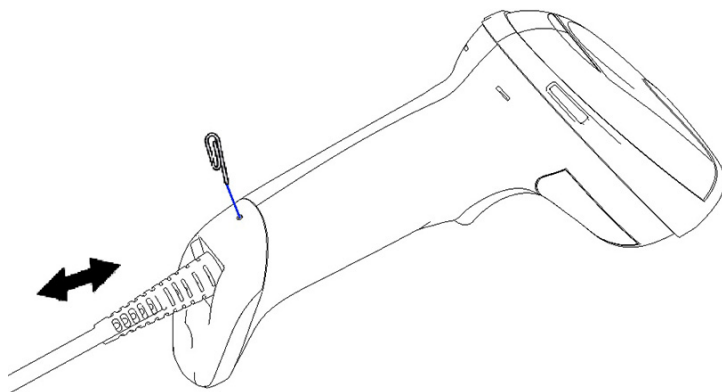




ケーブルの取り外しおよび接続

インターフェイスケーブルをバーコードスキャナーから取り外すには、以下の操作を行います。

1. まっすぐにしたクリップの端を、ハンドルの背面にある取り外し用の穴に差し込みます。
2. 差し込んだクリップを押しながら、ケーブルを引き出します。



☛ ヒント: ケーブルを挿入するときは、コネクタクリップがバーコードスキャナーの取り外し用の穴と同じ側にあることを確認し、所定の位置にカチッというまでケーブルを挿入します。

スキャナーの使用

照準システム

バーコードスキャナーは、バーコードをキャプチャしてデコードします。スキャナーには、デバイスの動きを検出すると高性能な照準システムが有効になる動作検出機能が内蔵されています。照準システムによって示される照射領域にバーコードが入るようにします。

赤色の光線がラベルに照射されます。照準システムによって示される領域は、スキャナーとバーコードが近づくにつれて狭くなります。バーまたは要素が小さいコードはリーダーに近づけ、バーまたは要素が大きいコードはリーダーから遠ざけます。

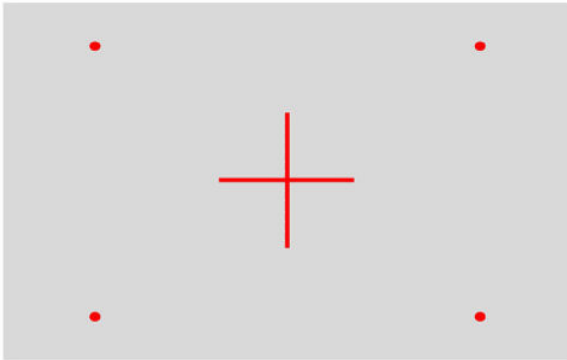
照準システムが中央に表示され、バーコード全体が照準フィールドの範囲内にある場合は、正常に読み取ることができます。読み取りが正常に行われると、ビープ音および正常な読み取りを示す緑色スポットのインジケーターによって表されます。

以下の図に、さまざまな照準システムパターンを示します。

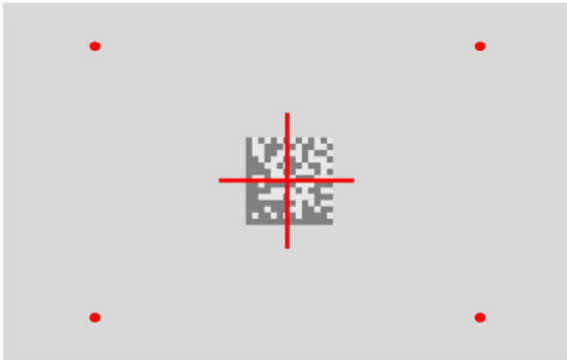
読み取り完了を示す緑色スポットのインジケータ :



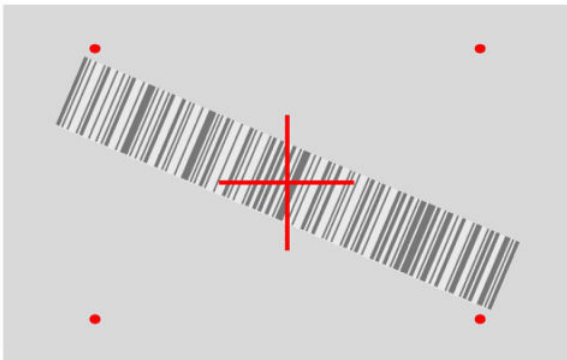
照準システムパターン相対的サイズおよび位置 :



2Dマトリクス型読み取りコード :



線形バーコード :



インターフェイスの種類を選択


ホストにバーコードスキャナーを接続したら、適切なバーコードをスキャンすることで、システムに合ったインターフェイスの種類を選択します。

バーコードスキャナーでは以下のホストインターフェイスがサポートされています。

- RS-232 STD
- RS-232 WN
- IBM46XX ポート 9b (特定のケーブルが必要)
- USB HID POS
- USB Toshiba TEC
- USB (キーボード、COM、OEM)
- USB 複合デバイス (キーボード + COM)
- Magellan スキャナー用 USB
- キーボード ウェッジ

インターフェイスの設定

以下の一覧から適切なプログラミングコードをスキャンして、お使いのシステムに合ったインターフェイスの種類を選択します。

 **注記:** 他のプログラミング機能およびオプションとは異なり、インターフェイスの選択では1つのプログラミングバーコードラベルのみをスキャンする必要があります。インターフェイス選択のバーコードをスキャンする前に、[プログラミングモードの開始/終了]バーコードをスキャンしないでください。

一部のインターフェイスでは、電源投入時にスキャナーが無効になった状態で起動する必要があります。スキャナーが無効になった状態でさらにスキャナーを設定する必要がある場合は、トリガーを5秒程度引いたままにします。バーコードを使用したプログラミングが可能な状態へと、スキャナーの状態が変更されます。

RS-232

RS-232 インターフェイス



RS232-STD の選択

RS-232 Wincor-Nixdorf



RS232-WN の選択

OPOS/UPOS/JavaPOS で使用するための RS-232



RS-232 OPOS の選択

RS-232 インターフェイスをシミュレートするための USB-COM



USB-COM-STD の選択

USB-OEM

USB-OEM (OPOS/UPOS/JavaPOS の場合に使用できます)



USB-OEM の選択

USB 複合デバイス

USB 複合デバイス



USB 複合デバイスの選択

IBM46xx

IBM46xx ポート 9b



IBM46xx ポート 9b の選択

端末用 USB

USB HID POS



USB HID POS の選択

USB Toshiba TEC



USB Toshiba TEC の選択

Magellan スキャナー用 USB

Magellan 用 USB



Magellan スキャナー用 USB の選択

キーボードインターフェイス

プログラミングバーコードを使用して、USB キーボードおよびキーボードウェッジインターフェイス用のオプションを選択します。

標準のキーエンコードを備えた、AT、PS/2 25-286、30-286、50、50Z、60、70、80、90、および 95



KBD-AT の選択

標準のキー エンコードを備え、外部キーボードのない IBM AT PS2 用キーボード ウェッジ



KBD-AT-NK の選択

代替キーを備えた、AT、PS/2 25-286、30-286、50、50Z、60、70、80、90、および 95



KBD-AT-ALT の選択

代替キー エンコードを備え、外部キーボードのない IBM AT PS2 用キーボード ウェッジ



KBD-AT-ALT-NK の選択

USB 標準キーボード



USB 標準キーボードの選択 (初期設定)

USB 標準キーボード (ALT モード)



USB 標準キーボード (ALT モード)

国モード

この機能は、キーボード言語を指定します。以下のインターフェイスは、すべての国モードをサポートしています。

- USB 標準キーボード (ALT モード)
- USB 標準キーボード
- 標準のキー エンコードを備えた、AT、PS/2 25-286、30-286、50、50Z、60、70、80、90、および 95
- 標準のキー エンコードを備え、外部キーボードのない IBM AT PS2 用キーボード ウェッジ
- 代替キーのない、AT、PS/2 25-286、30-286、50、50Z、60、70、80、90、および 95
- 代替キー エンコードおよび外部キーボードのない IBM AT PS2 用キーボード ウェッジ

他のすべてのインターフェイスは、米国、ベルギー、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、およびスウェーデンの国モードにのみ対応しています。



プログラミング モードの開始/終了



国モード = 米国 (初期設定)



国モード = ベルギー



国モード = クロアチア*



国モード = チェコ共和国*



国モード = デンマーク*



国モード = フランス



国モード = フランス語圏カナダ*



国モード = ドイツ



国モード = ハンガリー*



国モード = イタリア



国モード = 日本 106 キー*



国モード = リトアニア*



国モード = ノルウェー*



国モード = ポーランド*



国モード = ポルトガル*



国モード = ルーマニア*



国モード = スペイン



国モード = スウェーデン



国モード = スロバキア*



国モード = スイス*

* 国モード機能の説明に記載されているインターフェイスにのみ対応しています。

プログラミング

バーコードスキャナーには、標準的な初期設定による機能が設定されています。インターフェイスのバーコードをスキャンしたら、その他のオプションを選択し、[6ページのインターフェイスの設定](#)に記載されているプログラミングバーコードを使用してバーコードスキャナーをカスタマイズします。


プログラミングバーコードの使用

プログラミングバーコードラベルの一部には、[初期設定へのリセット]のように、1つのラベルをスキャンするのみで変更が完了するものがあります。また、その他のバーコードには、以下のように、スキャンする前にバーコードスキャナーをプログラミングモードにする必要が生じるものもあります。

1. プログラミングモードを開始するには、[プログラミングモードの開始/終了]バーコードを1回スキャンします。
2. パラメーター設定をスキャンします。
3. [プログラミングモードの開始/終了]バーコードをスキャンして、変更を確定します。このスキャンによってプログラミングモードが終了し、バーコードスキャナーは通常の動作に戻ります。

製品初期設定へのリセット

バーコードスキャナーを初期設定に復元する場合は、以下のバーコードをスキャンします。

 **注記：**工場出荷時の初期設定は、インターフェイスの種類に基づいて行われています。このラベルをスキャンする前に、必ずバーコードスキャナーを正しいインターフェイス用に設定してください。詳しくは、[6ページのインターフェイスの種類を選択](#)を参照してください。



初期設定へのリセット

Numlock

このオプションは、キーボードウェッジインターフェイスでの Numlock キーの設定を指定します。この設定は、代替キーエンコードインターフェイスにのみ適用されます。USB キーボードには適用されません。



プログラミングモードの開始/終了



Numlock = Numlock キーの変更なし（初期設定）



Numlock = Numlock キーの切り替え

Caps Lock の状態

このオプションは、バーコード スキャナーから送信される文字データのフォーマットを指定します。この設定は、キーボード ウェッジ インターフェイスに適用されます。標準キーボード (ALT モード) を選択した場合、このオプションは適用されません。



プログラミング モードの開始/終了



Caps Lock の状態 = Caps Lock オフ (初期設定)



Caps Lock の状態 = Caps Lock オン



Caps Lock の状態 = 自動 Caps Lock 有効

パラメーターの読み取り

バーコード スキャナーを対象に向かって動かし、照準パターンおよび照射システムを中央に照射してイメージをキャプチャし、デコードします。詳しくは、[4 ページの スキャナーの使用](#)を参照してください。

照準システムは、イメージのキャプチャ後に一時的にオフになります。コードが検出されない場合、次のキャプチャの前に照準システムがオンになります。そして次の読み取りが行われるまでオンのまま保たれます。

読み取りコードをスキャンする場合は、イメージがキャプチャされるまでバーコードスキャナーとの距離を調整します。

照準システム

照準システムの制御をカスタマイズするため、さまざまなオプションを使用できます。詳しい内容およびプログラミングバーコードについては、[4ページの照準システム](#)を参照してください。

読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間

バーコードリーダーは、読み取りが成功したことを示す緑色スポットを投影できます。以下のバーコードを使用して、読み取りの成功後に読み取り完了を示すポインター光線が持続する時間を指定します。



プログラミング モードの開始/終了



読み取り完了を示す緑色スポット無効



読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間 = 短 (300 ミリ秒) (初期設定)



読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間 = 中 (500 ミリ秒)



読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間 = 長 (800 ミリ秒)

動作モード

スキャンモード

スキャナーは、以下のような複数のスキャンモードのうちの1つで動作するように設定できます。

トリガー シングル (初期設定) : このモードは、一般的なハンドヘルドバーコード スキャナーの動作です。トリガーが引かれると、照射がオンになり、スキャナーによってラベルの読み取りが試みられます。スキャンは以下のどれかが発生するまで有効になっています。

- プログラム可能な最大スキャン時間が経過した。
- ラベルが読み取られた。
- トリガーが解放された。

トリガー パルス マルチ : トリガーが引かれるとスキャンが開始され、トリガーの解放後も継続されます。このスキャンは、再びトリガーが引かれるかまたはプログラム可能な最大スキャン時間が経過するまで継続されます。ラベルの読み取りが行われても、スキャンは無効になりません。二重読み取りのタイムアウトを使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

トリガー ホールド マルチ : トリガーが引かれるとスキャンが開始され、トリガーが解放されるか、または最大スキャン時間が経過するまで継続されます。ラベルの読み取りが行われても、スキャンは無効になりません。二重読み取りのタイムアウトを使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

常時オン : 照射は常時オンになっていて、バーコード スキャナーでいつでもコードを読み取ることができる状態になっています。二重読み取りのタイムアウトを使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

フラッシング : トリガーの状態とは無関係にバーコード スキャナーの照射が点滅します。コードの読み取りは、フラッシュがオン*のときにのみ実行されます。二重読み取りのタイムアウト*を使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

オブジェクト検出 : 読み取りエリア内に対象物がないかスキャンします。最適な読み取り領域を示すために、照準パターンは常にオンになります。事前定義された移動量が検出されると、白色照明がオンになります。スキャンは、ラベルが読み取られるか、最大スキャン時間に達するまで続けられます。

*フラッシュ オン時間およびフラッシュ オフ時間によって制御されます。



プログラミング モードの開始/終了



スキャン モード = トリガー シングル (初期設定)



スキャンモード=トリガーパルスマルチ



スキャンモード=トリガーホールドマルチ



スキャンモード=フラッシング




スキャンモード=常時オン



スキャンモード=スタンモード

モード選択

モード選択は、ラベルが照準パターン（赤色の十字形によって示される領域）の中心に近い場合にのみラベルをデコードするバーコードスキャナーの機能を指定します。モード選択は、照準パターンの中心を起点として設定可能な距離の外にあるバーコードが認識されない、またはホストに送信されないデコードおよび送信プロセスです。モード選択は、スキャナーがトリガーシングルモードになっている間のみ有効になります。スキャナーが異なる読み取りモードに切り替わると、モード選択は自動的に無効になります。

 **注記：** この機能は、ボリューム内の[複数ラベルの読み取り]とは互換性がありません。



プログラミングモードの開始/終了



モード選択 = 無効（初期設定）



モード選択 = 有効

複数ラベルの読み取り

バーコードスキャナーには、複数のラベルを読み取るためのさまざまなオプションが用意されています。これらの機能およびプログラミングラベルについて詳しくは、HP バーコードスキャナーDシリーズの構成ユーティリティを参照してください。

3 LED およびビープ音によるインジケータ

スキャナーのビープ音およびLEDの点滅や色の変化によって、バーコードスキャナーのさまざまな機能やエラーが表されます。読み取りが正常に行われたときは、緑色スポットも点灯します。以下の表に、これらのインジケータの一覧を示します。

表 3-1 LED およびビープ音によるインジケータ

意味	LED	ビープ音
電源投入	上部のLEDは電源投入時に点滅しますが、点滅が速すぎて確認できないことがあります。USBインターフェイスでは、ホストとのペアリングが完了するまでLEDが点滅します	スキャナーは、電源投入時に最高の周波数と音量で4回ビープ音を鳴らします
正常読み取り	プログラムされた時間の間、上部の緑色のLEDが点灯します（初期設定）。HPバーコードスキャナーDシリーズの構成ユーティリティを使用して、この通知のためのLEDの動作を構成できます	現在の周波数、音量、単音調または複音調設定で、1回ビープ音が鳴ります。HPバーコードスキャナーDシリーズの構成ユーティリティを使用して、カスタムの効果音をアップロードすることもできます
ROMの障害	200ミリ秒点灯/200ミリ秒消灯	最大の音量で200ミリ秒の長さのエラービープ音が1回鳴ります
制限されたスキャンのラベル読み取り	n/a	スキャナーでは、最高の周波数および現在の音量で6回高く鳴ります
スキャナーが無効	LEDは、100ミリ秒点灯/900ミリ秒消灯の長さで継続的に点滅します	n/a

4 トラブルシューティング

表 4-1 トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
トリガーを引いても何も起こらない	スキャナーに電源が供給されていない	システムの電源が入っていることを確認します。電源が接続されていることを確認します
	インターフェイスまたは電源の接続が緩んでいる	すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します
LED は点灯するが、バーコードが読み取れない	バーコードラベルが読み取り不能である	ラベルの印刷面が汚れていないか確認します。別の種類のバーコードをスキャンしてみます
	スキャナーとバーコードとの距離が適切でない	スキャナーをバーコードに近づけるか、離します
バーコードは読み取られるが、ホストに転送されない	スキャナーが適切なホストの種類に対応するようにプログラムされていない	適切なホストの種類のバーコードをスキャンします。詳しくはユーザーガイドを参照してください


5 人間工学上の推奨事項


⚠ **注意**：不適切な体勢で操作することによるけがの発生を防止または最小限にするため、以下の点に注意してください。

- 反復的な動作を減らすまたはなくす。
 - 自然な位置を維持する。
 - 無理な力を減らすまたはなくす。
 - 頻繁に使用されるものを、手が届きやすい定位置に置く。
 - 作業を適切な高さで行う。
 - 振動を減らすまたはなくす。
 - 直接的な圧力を減らすまたはなくす。
 - 調整可能な作業場所を用意する。
 - 十分な空間を確保する。
 - 適切な作業環境を提供する。
 - 作業手順を改善する。
-

6 クリーニング

表面やスキャンウィンドウは、液体がかかったり、汚れや埃がたまったりする場合がありますため、定期的に清掃して、スキャン中に最適な読み取り結果が得られるようにする必要があります。スキャナーを良好な動作状態に保つには、以下の操作を行います。

 **注意**：清掃の前に、必ず電源を切り、デバイスの電源コードを抜いてください。


 **重要**：研磨パッドや洗浄剤を使用しないでください。

一般的な洗浄液

以下のクリーナーおよび消毒剤は、表面部分での使用がテストされています。

表 6-1 一般的な洗浄液

消毒剤	クリーナー
CaviWipes	Formula 409 ガラスおよび表面クリーナー
漂白剤	イソプロピル アルコール
Hepacide Quat II	食器洗い洗剤および水
Sani-Cloth	Windex Original (青)
Virex II 256	

 **重要**：消毒剤は金属を傷める可能性があります。表面部分にのみ使用することをおすすめします。

クリーナーを直接製品に吹きつけたり、かけたりしないでください。

濃縮された状態の溶液は使用しないでください。

エアゾール、溶剤、研磨剤は使用しないでください。

ペーパータオルや粗い布を使用してウィンドウを拭かないでください。

エンクロージャーおよびウィンドウの表面の清掃

1. 推奨される洗浄液で柔らかい布を湿らせます。必ず、まず布の方に溶液をかけるようにしてください。余分な液体は、布を絞って取り除きます。
2. 布でユニットの表面を拭きます。軽く湿らせた綿棒を使用して、角や隙間を清掃します。
3. 別途用意した清潔な乾いた布を使用して洗浄剤の残留物を取り除き、ユニットが乾いていることを確認します。

7 ユーザーサポート

HP とユーザーサポート

HP はダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワークライフバランスを会社を構成する基本と考えており、HP のあらゆる業務にこの考えが反映されています。HP は、世界中で人と技術力を結び付けることを重視した、すべての人が活躍できる環境作りを目指しています。

必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。詳しくは、[25 ページの最適な支援技術の確認](#)を参照してください。

HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、会社の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザーサポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザーサポートポリシーでは、HP の取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内においてユーザーサポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザーサポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザーサポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザーサポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。
- HP の製品やサービスに関連する支援技術を向上させる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザーサポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザー サポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザー サポートの専門家のキャリア形成やキャリアアップを支援したり、企業がユーザー サポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込めるようにすることを目標としています。

設立メンバーとして、HP は他の企業と協力してユーザー サポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザー サポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、ユーザー サポート業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org> (英語サイト) にアクセスして、オンラインコミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザー サポートに関する意識の向上に努めています。目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上するために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

HP 製品のユーザー サポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザー サポート機能および支援技術 (該当する場合) について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- [HP Elite x3 - ユーザー補助オプション \(Windows 10 Mobile\) \(英語サイト\)](#)
- [HP PC - アクセシビリティ オプション \(Windows 7\)](#)
- [HP PC - Windows 8 アクセシビリティ オプション](#)
- [HP パソコン - Windows 10 のアクセシビリティ オプション](#)
- [HP 7、Slate 7 タブレット - HP タブレット \(Android 4.1/Jelly Bean 搭載\) でのユーザー補助機能の有効化](#)
- [HP SlateBook PC - ユーザー補助機能を有効にする \(Android 4.2、4.3/Jelly Bean\)](#)

- [HP Chrome OS – HP Chromebook または Chromebox でユーザー補助機能をオンにする \(Chrome OS\)](#)
- [HP のショップ – HP 製品の周辺機器](#)

HP 製品のユーザー サポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[28 ページの HP のサポート窓口へのお問い合わせ](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [Microsoft® のアクセシビリティ情報 \(Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft Office\)](#)
- [Google ユーザー補助機能 \(Android、Chrome、Google アプリ\)](#)
- [お困りの種類別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [製品別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [支援技術ベンダーと製品の説明 \(英語版\)](#)
- [ATIA \(Assistive Technology Industry Association\) \(英語版\)](#)

標準および法令

標準

FAR (Federal Acquisition Regulation : 連邦調達規則) に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術 (ICT) にアクセスできることを明記するために策定されました。この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディアおよび独立式の閉鎖型製品を対象とします。

Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合向け)

The EN 301 549 standard was created by the European Union within Mandate 376 as the basis for an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the functional accessibility requirements applicable to ICT products and services, together with a description of the test procedures and evaluation methodology for each accessibility requirement.

WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)

W3C の WAI (Web Accessibility Initiative) によって公開された WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。WCAG は、さまざまな Web コンテンツ (テキスト、画像、オーディオ、動画) および Web アプリケーションによってユーザー サポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方も利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能**（画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど）
- **操作可能**（キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能）
- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）


法令および規制

IT および情報のユーザー サポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。以下に示す各リンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [United Kingdom（英国向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)
- [全世界](#)

ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記：** この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

組織（英語のみ）

- AAPD（American Association of People with Disabilities）
- ATAP（Association of Assistive Technology Act Programs）
- HLAA（Hearing Loss Association of America）
- ITTATC（Information Technology Technical Assistance and Training Center）
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA（Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America）
- TDI（Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.）
- W3C WAI（Web Accessibility Initiative）

教育機関（英語のみ）

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

障がいに関するその他のリソース（英語のみ）

- ADA（Americans with Disabilities Act）Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum（欧州障害フォーラム）
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable

HP のリンク

[お問い合わせの Web フォーム（英語サイト）](#)

[HP の『快適に使用していただくために』（言語を選択してください）](#)

[HP の公的機関への販売（米国向け）](#)

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのお問い合わせ先またはサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> または <https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。説明に沿ってお使いの製品を探します。

8 仕様

スキャナーの仕様

表 8-1 スキャナーの仕様

国際単位系	
寸法	
長さ	10.9 cm
幅	6.8 cm
高さ	16.6 cm
質量	
スタンドを除く	161 g
スタンドを含む	374 g
入力電源	
動作時	300 mA 未満 (5 V) ~ 200 mA 未満 (12 V)
スタンバイまたはアイドル時	90 mA 未満 (5 V) ~ 50 mA 未満 (12 V)
動作保証温度	
動作時	0 ~ 50°C
非動作時	- 40 ~ 70°C
相対湿度	95% (結露しないこと)

被写界深度 (DOF) (通常) *

表 8-2 被写界深度

読み取りコード	SR	HD
Code 39	5 mil : 7.0 ~ 38.0 cm	3 mil : 5.0 ~ 15.0 cm
	10 mil : 2.2 ~ 58.0 cm	5 mil : 0.5 ~ 25.0 cm
	20 mil : 照射領域下限 ~ 110 cm (最大 43.3 インチ)	10 mil : 0.5 ~ 45.0 cm
EAN13	7.5 mil : 9.0 ~ 30.0 cm	7.5 mil : 2.0 ~ 23.5 cm
	13 mil : 1.0 ~ 71.0 cm	13 mil : 1.0 ~ 40.0 cm
PDF417	6.6 mil : 6.5 ~ 24.0 cm	4 mil : 3.0 ~ 12.0 cm
	10 mil : 2.5 ~ 41.0 cm	6.6 mil : 0.5 ~ 23.5 cm
	15 mil : 2.3 ~ 65.0 cm	10 mil : 0.5 ~ 31.0 cm

表 8-2 被写界深度 (続き)

読み取りコード	SR	HD
Datamatrix	10 mil : 5.5~27.0 cm	5 mil : 5.5~9.0 cm
	15 mil : 2.8~41.0 cm	10 mil : 0.2~27.0 cm
最大解像度	1D 最小 = 4 mil	1D 最小 = 3 mil
	PDF417 最小 = 5 mil	PDF417 最小 = 3 mil
	Datamatrix 最小 = 7.5 mil	Datamatrix 最小 = 4 mil

* EAN に基づく 13 mil の被写界深度。その他すべての 1D コードは Code 39 の値です。すべてのラベルはグレード A、一般的な環境光下、20°C、ラベルの傾斜角度 10 度での値です。

読み取りコード

表 8-3 読み取りコード

読み取りコード

1D バーコード

UPC/EAN/JAN (A、E、13、8)、UPC/EAN/JAN (P2/P5 を含む)、UPC/EAN/JAN (ISBN/Bookland および ISSN を含む)、UPC/EAN クーポン、Code 39 (Full ASCII を含む)、Code 39 Trioptic、Code 39 CIP (フランスの医薬品)、LOGMARS (標準チェック デジタルが有効になった Code 39)、Danish PPT、Code 32 (Italian Pharmacode 39)、Code 128、Code 128 ISBT、Interleaved 2 of 5、Standard 2 of 5、Interleaved 2 of 5 CIP (HR)、Industrial 2 of 5、Discrete 2 of 5、Matrix 2 of 5、IATA 2 of 5 航空貨物コード、Code 11、Codabar、Codabar (NW7)、ABC Codabar、EAN 128、Code 93、MSI、PZN、Plessey、Anker Plessey、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Truncated、DATABAR Expanded Coupon

2D スタック型コード

スキャナーでは、複数のフレームを使用して以下の読み取りコードのデコード (複数フレームのデコード) が可能です。Datamatrix、Inverse Datamatrix。以下のパラメーターについて Datamatrix を構成できます。標準または反転、正方形スタイルまたは長方形スタイル、データ長 (1~3600 文字)、Maxicode、各種 QR コード (QR、Micro QR、および Multiple QR コード)、Aztec、各種郵便コード (オーストラリア郵便、日本郵便、KIX 郵便、Planet コード、Postnet、Royal Mail Code (RM45CC)、Intelligent Mail Barcode (IMB)、スウェーデン郵便、ポルトガル郵便)、LaPoste A/R 39、PDF-417、MacroPDF、Micro PDF417、GS1 Composites (1~12)、French CIP13^a、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Expanded Stacked、GS1 Databar Composites、Chinese Sensible Code、Inverted 2D codes^b

^a ULE を使用してこのパラメーターを処理することが可能です。

^b ソフトウェアでは、通常または反転されたデコード制御を次の読み取りコードに適用可能 : Datamatrix、QR、Micro QR、Aztec、および Chinese Sensible Code。